

宇宙的大転換の年——2017年9月23日

【訳者注】現在、これを訳し終えて、22日午後4時である。明日は、論者の言うように、おそらく普通の日と変わらず過ぎていくだろうが、何かが起こるかもしれない。どちらにせよ「真の預言は破局を避けるためにあるのであった、予言するためではない」という言葉を嘯みしめるべきである。何も起こらなかつたから嘘っぱちだった、と考えるべきではないということである。それをここに厳密に論証するために、これを書いている。

ここにはその言及がないが、ほとんどの予言が、“ニビル”とも“惑星X”とも呼ばれる不気味な天体との関連で、この日に言及している。David Meade という人などの言うことはかなり確実なようでもあり、NASA もその存在を認めているようである。どんな人の言うことも一蹴するような問題ではない。

State of the Nation

September 19, 2017



大きな時代の転換は、1日や1カ月や1年で起こるものではない。

長期時代の始まりと終わりは、常により長い時間の広がりを通じて起こる。

この時代がより長いものであるほど、薄明とそれに続く時代の夜明けは長い。

キーポイント：マヤ長期歴は、完結した 5125 年後の特定の日に終わるが、その特定の時代の特徴であるものが、新しいエネルギーが現れ始める数十年間は、まだ残っている。時代のカーテンが一瞬に落ちて、1つの長期時代の終わりを画するという事は、めったに起こらない。それは常に、新しい時代の段階的始まりと、古い時代のフェイドアウトという形をとる。

この肝心なことを理解した上で、2017年9月23日が特殊な日付であることが、よりよく理解できるであろう。なぜなら、この大いに待たれた日は、ある特別で神聖な占星学上の空の下で起こるからである。そういうものとして、それは次の土曜日に、通過儀礼に似たともいえる、強力なエネルギーのインパクトを与える。ただこの場合には、惑星文明の全体が火の洗礼を受けることになる。

「2017年9月、23日：天空的規模の宇宙の収束」<http://cosmicconvergence.org/?p=18973>

ある若いネイティブ・アメリカンが一人で、ビジョンを求めて荒野へ出かけたとき、彼は完全に大人の勇者に変貌して部族へ帰ってはこなかった。しかし彼の通過儀礼は、しばしば、完全な成人への成熟の画期的な瞬間を印づけるものだった。

同様に、この7月23日は、数千年に一度の、地図のない領域の未来への通過儀礼のように、機能するであろう。8月21日に、アメリカ合衆国のみを初めて通過した、この最初の皆既日食のすぐ後にやってくることによって、この国に影響を及ぼす変貌の周波数は、大きく増幅される。これら2つの歴史的な天上の出来事の間、意味の深い33日間の期間がある。**33日間の宇宙的窓は9月23日に閉じる。**

ドナルド・J・トランプ大統領の選出は、その運命の邪魔をしようとする者たちにもかかわらず、すでにアメリカを、一つの完全な新しい進路へと決定づけた。彼のホワイトハウスの占拠と、“深層国家”への具体性ある脅威は、権力者（TPTB）を完全な混乱の状態に陥れた。彼が主流メディアに対して公然と戦いを仕掛けたことは、その中で、それ自体で、重要な意味をもつ。彼はまた、最大権力をもつ、アメリカの情報局共同体にも手を付け始めた。ともに前例がなく、また今後も決して起こらないだろう。

現代イスラエル国家

アメリカ連邦政府のこれまでに取った最も重要な動きは、イスラエル・アパルトヘイト国家への、政治的、経済的、および軍事的な関りである。このコンテキストにおいて、米合衆国の尻にくっついているのは、現代イスラエル国家（MSI）であって、2000年の昔の聖書の

イスラエル人ではない。これより先、イスラエルを、キリスト教以前のイスラエルの 12 古代部族から完全に区別するために、MSI (=Modern State of Israel) と呼ぶことにする。

ここで肝要な点は、2017 年という年は、ユダヤ人と現代イスラエル国家の両方の歴史において、最高の統治が行われている年だということだ。暦の事実として、2017 年 9 月 20 日は、ユダヤ歴の 5777 年の最後になる。にもかかわらず、この議論は主に、1897 年に“第一シオニスト議会”とともに始まった MSI の創設に焦点を当てている。

第一シオニスト議会は、“シオニスト組織”の最初の議会（のち 1960 年に“世界シオニスト組織”となる）であり、スイスのバーゼルで、1897 年 8 月 29 日から 31 日まで開催され、208 名の代表と 26 人の記者団がそこに出席した。

それは、現代シオニスト運動の創始者 Theodor Herzl によって招集され、主宰された。この議会は、バーゼル計画と呼ばれるシオニストの綱領を定め、また Hatikvah をイスラエル国国歌として採用した。

現代歴史を通じて、第一シオニスト議会の招集の日ほど、恐ろしい運命の日はない。恥ずべき日として残る日があるとすれば、それは、この世界的なシオニスト運動が一つの傘の下に組織された、1897 年の決定的な日である。シオニズムが、2 つの世界大戦に直接、責任があると書いている人々もあるくらいだ。「7 千万の人々は、ユダヤ人がパレスティナを手にするために死んだのか？」

その後が続くのは、1897 年より先の MSI の発達の一般的タイムラインである。特に目立つ一つのことがあるとすれば、それは、最も重要な年が“7”数で終わっていることである。これは意図的な計画によるもので、Shemitah の年が、現代と古代のユダヤの伝統の中で、7 のつく年ごとに起こっている。

1897+50 年（ヨベルの年）=1947（イスラエル国家建設の国連指令）

1897+70 年（この数は聖書の多くの箇所に見出される）=1967（イスラエルが東エルサレムと神殿の丘を占領）+120=2017

1897—（世界シオニスト会議）+120 年=2017

1917—（英バルフォア宣言がユダヤ人のパレスティナ移住を許可）+100 年=2017

1947—（米が、パレスティナにイスラエル建設の許可を指令）+70 年=2017

1967—（イスラエルが東エルサレムと神殿の丘を占領）+50 年（ヨベルの年）=2017

1977—（エジプトのアンワル・サダトがイスラエルに逃亡し、“平和の過程”が始まる）+40 年（古典的聖書の 1 世代）=2017

1987— (最初のパレスティナ蜂起 [インティファダ]) + 30 年 (聖書の多くの箇所です
られる: イエスが 30 歳で公生涯を始める、ダビデが 30 歳で王となる) + 30 = 2017

2017— (ユダヤ歴の 3 つの残った Fall Feast がまだ果たされていない (別名 MODEIM
— トランペット、贖罪、幕屋)

何がポイントか？

MSI の運命を支配する人々が、彼らの数百年のマスター・プランを、根本的に変えていなければ、2017 年がその年である。何の年か？

世界の国家共同体は、我々の一生においては、決して起こるとは想像できなかった物事を、すでに目撃している。一日過ぎるごとに、社会を構成するもの自体が、地球全体を通じて、取り返しのつかないほどに引き裂かれている。こうしたことすべては、かつてオールマイティだったドルが、リアルタイムで権威を失っていくと同時に起こっている。かつて全能だったドルが、しかるべく権威を失っている。

地球的経済と金融組織の全体が、内からと外からの脅威にさらされて退化していくとき、秩序そのもの、つまり旧世界秩序も同じように崩壊していく。同様に、秘密だが非常に大きな結果をもつ大イスラエル (拡張イスラエル) 計画も崩壊していく。

肝心なことは、地球経済と金融組織をコントロールしてきた人々が、MSI の拡張をもコントロールしてきたことである。彼らはまた、少なくともウッドロー・ウィルソン大統領時代と、1913 年の連邦準備法以来、アメリカの運命を支配してきた。

キーポイント: 世界全体が、中央銀行システムの規定の下で、活動することに困難を感じてきた。すべての中央銀行が、スイスのバーゼルにある 国際決済銀行 にプラグを繋がれているから、彼らはすべて同じ隠れた手によってコントロールされている。この隠れた手が、第一次大戦、大不況、および第二次大戦を操った張本人であった。それはまた、2008 年の株式市場暴落と、続く景気大後退をつくり出した者たちでもあった。

こうしたことすべてが、2017 年 9 月 23 日にどう関係するのか？

北アメリカで仕掛けられている前例のない天候戦争は、“我々人民” がビジネスを行うやり方が大きく変わったことを反映するものである。アメリカの石油ドルが文字通り暴落し、見ているところで燃えてしまえば、それに依存するシオニスト・アングロ - アメリカ枢軸も、

同じことになるだろう。各国が、米ドルに依存してビジネスを行うほど、既知、未知の極端なリスクにさらされる危険は将来、大きいだろう。

9月23日を特別な回転軸にしているものは、この日、空に起こるまれな占星学的現象である。おとめ座としし座両方の位置に起こる、さまざまな推移と直線化は、あまりにも啓示的で無視することはできない。なぜならそこには、人間の現在の道のりの直接の運命に影を投げかける、占星学的な青写真が含まれているからである。

2017年9月23日と大患難時代

<http://cosmicconvergence.org/?p=22173>

今度の土曜日が、Rosh Hashanahの祝いが終わった後の、9月22日に当たり、それが秋分の日にもなるということは、この日の強力なエネルギーを更に強化するものである。実は、このことすべては、ヘブライの秋の祭りを背景にして起こっていることであり、それは最後に残っているMODIMの3つの神聖な道標なのである。MDIEMと3つの済まされていない秋の祭り。<http://cosmicconvergence.org/?p=22253>

“ In Kali Yuga, wealth, not virtuous conduct,
will determine a man's worth. Might will decide what is
good and bad. Thieves will lead the country.
Rulers, greedy and cruel...”

Kali Yuga, the Age of Darkness...

「カリ・ユガにおいては、有徳の行いでなく、富が人の価値を決定するであろう。権力が善悪を決めるであろう。盗賊が国家を指導し、支配者は、貪欲で残酷な・・・」

カリ・ユガ、暗黒の時代・・・

カリ・ユガの黄昏

更なる価値ある展望が、ヒンドゥーの宇宙論による、現代のタイミングと期間を理解することによって得られるであろう。カリ・ユガと呼ばれる、約5125年の期間は、マヤの長期カ

ウント暦に一致する。あの敬意を払われる暦の現実の出発の日が、カリ・ユガが始まったのと同じ日であるから、宇宙の時計における現在の時刻を推定するのは容易い。

「カリ・ユガ：喧嘩と争いの時代」 <http://cosmicconvergence.org/?p=6028>

“鉄の時代”とも呼ばれるこのカリ・ユガは、ヒンドゥーの聖典によって、いみじくも、我々のポスト・モダン文明が説明されている、黄昏の時代によって終息する。ここから我々は、2017年とその向こうに、ユダヤ、ヒンドゥー、およびマヤの、伝統のカレンダーの糸が、例外的に収束するのを見る。

更にまた他の宗教——キリスト教とイスラム——の信仰もある。これらもまた急速に展開していく終わりの時に、直接、言及している。キリスト教の終末論は特に、この10年間の重大な意味に触れており、ムスリムの予言も同じである。再臨が新約聖書で予言されたのに対して、初臨はトーラで予言されている。同様に、イスラムの予言は、世界中の仏教徒が Lord Maitreya (弥勒) を待ち受けるように、Mahdi の帰りを口にしてしている。ヒンドゥー聖典でさえ Lord Kalki の出現を預言している。「Lord Kalki：彼の出現はカリ・ユガの終わりを意味する」

結論

「時は変わりつつある」ことに疑いがあるだろうか？

おそらく9月23日は、他の日と同じように過ぎていくかもしれず、そうでないかもしれない。

どちらにせよ、最近あらゆる方面で飛び交っているすべての預言は、全く意図的なものである。とりわけ知っておくべきことがある——「**真の預言は破局を避けるためにあるのであって、予言するためではない。**」

あらゆる人間が、体の奥深くで、何か非常に**大きなもの**が、すぐ向こうまで来ていることを知っている。彼らはまた知っている：**何ものかが世界全体を狂わせようとしている、しかしそれは何だ？**

あらゆる人が、それは、本当は何であるかを見つけ出さねばならない。そして早ければ早いほどよい。あらゆる人が、**我々**の上にまもなくやってくる困難に、対処できるようにするためである。

人類の運命が危機に瀕しているだけでなく、この惑星の未来が危ない状態にある。そうであれば、今起こっている“大きな移動”に直面するために、祈りの姿勢を取るのが当然ではないか。

神のご加護を！

宇宙収斂研究グループ

September 19, 2017